

進路だより

東京都立あきる野学園
令和7年12月19日
進路指導部 No.04

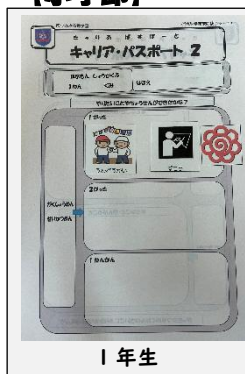


12月となりました。「師走」という言葉通り、進路の諸活動もあわただしく年末へと向かっております。進路だより今年度第4号となります。卒業後の進路や将来に関する取り組みをはじめ、小学部、中学部段階での進路に関わる学習についてなど、様々な情報をお知らせしていきます。

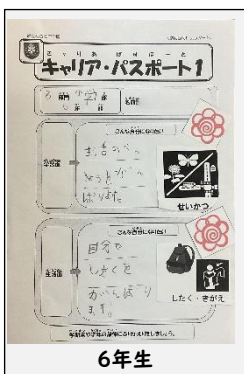
キャリアパスポート

各学期始めにキャリアパスポートを作成し、目標をもって過ごし、学期末には自分で評価しています。今回は、B部門のキャリアパスポートの活用の実際について、お伝えします。

【小学部】



1年生



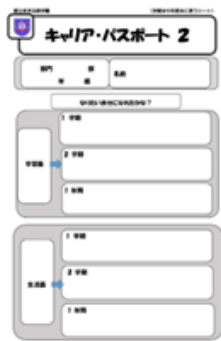
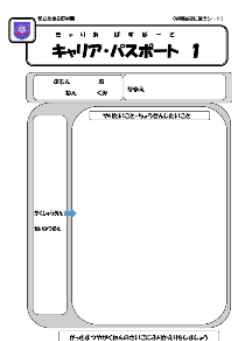
6年生

小学部でも1年生からキャリアパスポートを作成しています。

1年生では、学校生活自体が初めてです。そのため教員が目標の選択肢を、イラストや写真等で複数提示し、児童が自分で選んで目標を立てています。

6年生では、「自分で目標を考え、記入する」児童もいます。毎学期目標を立てる中で、学習内容に見通しをもち、自分で目標を立てることができるようになった事例です。

【中学部】



中学部は担任が生徒に合わせて書式を選んで作成しています。

1年生では、自分で目標を考え、記入できる生徒をはじめ、小学部から積み上げてきた経験を踏まえ、教員が目標とする内容をイラストや写真等で複数提示すると、自分で意欲的に目標を選んで貼って作成する生徒もいます。

3年生では、高等部への進学に向けて自分でできることを増やし、自分で選択することを意識して作成に取り組んでいます。

【高等部】

高等部の3年間で目標設定が上手になっていった生徒の一例をご紹介します。

高1の頃は「漢字検定を頑張る」「腹筋を頑張る」といった目標で、頑張るために何をすればよいかが明確ではなく、一度も取り組まずに終わった目標もありました。高2では、目標達成のための手立てを考えられるよう支援したことで、「平日は1時間、休日は2～3時間漢字の勉強する」と、具体的な行動につながる目標へと変化しました。高3になると、学習時間の記録以前の目標が無理のあるものだったと自ら気づき、「一日50分、ノートに書いて学習する」という現実的で効果的な目標を立てました。その結果、漢字検定4級に合格することができました。キャリアパスポートを学期末だけでなく、社会生活の指導の時間などで日常的に活用してきた成果です。

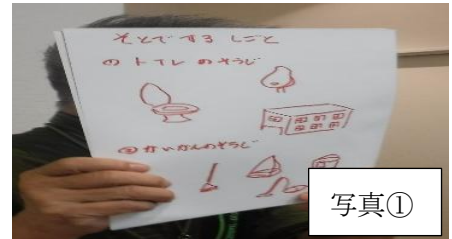
B 中学部 1 年 進路見学

10月15日（水）、「やまぐちや（生活介護・就労継続支援 B 型）」の見学を行いました。事前学習の時から質問する内容を考えてしおりに書いたり、貼ったりしながら当日を楽しみにしていました。当日は、職員さんから施設内を丁寧に説明していただきました（写真①）。

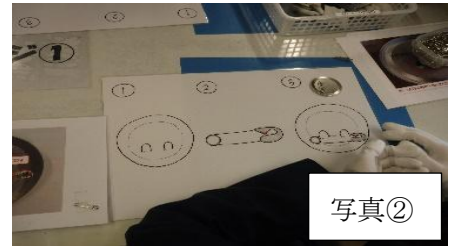
利用者の方が、朝礼やラジオ体操をしている様子も見学させていただきました。

やまぐちやでは、缶バッジの組み立て（写真②）や、商品の梱包作業やタグ付けなど、様々な仕事をされていました。扱う商品には多くの種類があることも知りました。

今回の見学を経て、学校での作業学習やいつも授業でがんばっていることが働くために必要な力や働く意欲を育んでいくことを改めて感じ、貴重な経験をすることができました。



写真①



写真②

第 2 回進路学習会 あきる野学園の進路状況について

～東京都の状況とあきる野学園の状況～

A・B 両部門 32 名の保護者の皆様にご参加いただきました。

東京都全体の部門別高等部卒業後の進路状況、それと比較したあきる野学園卒業生の進路状況について、過去5年間の傾向を詳しく説明しました。

企業就労の割合が都平均に比べて、高い傾向にある事。福祉サービス利用については A 部門＝生活介護（重心）の利用が多く、B 部門＝就労継続支援 B 型利用の方が多い事。進路選択と決定のプロセスを、高等部段階の校内での学習（「職業」や「作業学習」など）や校外での学習（「就業体験」や「現場実習」）のサイクルの中で実施している事をお伝えしました。

1 月以降に次回の進路学習会を実施していく予定です。

次回もお楽しみに！



支援のバトンをつなぐこと

本号でも取り上げた「キャリアパスポート」は、児童・生徒本人が自分で目標をたて「できた！」をベースに次の目標「これをがんばる！」を考えていく取り組みです。本人がどんな目標をもって、これまで何があんばってきたのかを知ることからこの目標を共に考える貴重な資料になったりもします。

この「がんばる」や「できた！」は決して本人が自分の力だけで「できる」ことだけを示しているわけではありません。「支援者と一緒にできる」「声掛けを受けてがんばる」「手順表をみてできる」など色々な支援を受けての「できる」も大切な本人の力です。進路選択においてこの「〇」があればできる」という情報は、進路先や支援機関がとても求めている情報となります。あきる野学園に在学中にこの「〇〇」を埋める情報をたくさん集めて、卒後のそのバトンをつないでいくことを考えていければと思います。